



的様

# どうし 議会だより

令和7年11月1日発行  
山梨県道志村議会

NO. 68



## contents

- P4 決算認定 P6 一般質問
- P15 道志村の企業紹介（株式会社三和電機）
- P16 がんばる人紹介（駐在 赤池秀雄さん）

道志村  
内の 滝 的様の滝





## おもな審議・可決事項

## ●報告（他 2 件）

- ・ 令和 6 年度決算に基づく道志村健全化判断比率及び資金不足比率について

## ●条例改正（他 1 件）

- ・ 人と自然が輝く水源の郷づくり道志村応援寄附金条例の一部を改正する条例

## ●令和 7 度道志村一般会計補正予算（第 2 回）

おもな財源		おもな使いみち	
国庫支出金	△ 146 万円	総務費（総務管理他）	4,425 万円
県支出金	32 万円	農林水産業費（林業振興他）	△ 38 万円
繰入金	4,373 万円	土木費（道路橋りょう他）	90 万円
繰越金	4,360 万円	諸支出金（財政調整基金他）	6,180 万円

## ●同意

- ・ 道志村教育委員会教育長の任命につき同意 すぎもとけんじ（杉本賢二さん）
- ・ 道志村教育委員会委員の任命につき同意 みずこしあやこ（水越紋子さん）

令和 6 年度決算認定  
令和 7 年度補正予算

- 【会期】9月17日～26日
- 報告（3 件）
- 承認（1 件）
- 変更（1 件）
- 条例改正（2 件）
- 補正予算（6 件）
- 令和 5 年度決算認定（8 件）
- 請願（1 件）
- 同意（2 件）

第 4 回  
臨時会

## おもな審議・可決事項

- ・ 工事請負契約の変更について（竹之本地区法面工事）
- ・ 工事請負契約の締結について（道志村公民館（仮称）建設工事）
- ・ 物品購入契約の締結について（道志村救急自動車・救急資機材購入）

【会期】6 月 27 日



精米機

**Q** 育苗促進について、精米機等の購入、農機具貸し出しは

の購入、農機具貸し出しは

**A**

離農する人が増えているのは単に鳥獣被害や高齢化が進んでいるからだけではなく、農機具の高額化や村内に精米する場所が少なく村外へ出て精米している現状があります。

そういう事も要因の一つと考えられるので今後検討していきます。



ローソン

**Q** ローソンの働き方について

オープン以来オーバーワーク気味になっていると聞くがその対策は。

**A**

勤務体制、勤務時間など調査、確認し問題がある場合は改善を勧めよりよく働ける様、検討します。

## 令和 6 年度 一般会計決算 (単位：千円以下切捨て)

歳入 (入ってくるお金)	26 億 675 万円
歳出 (どう使われたか)	24 億 6,935 万円
歳入歳出差引 (次期繰越金)	1 億 3,740 万円

総額  
32 億  
4 8 7 3 万円

令和 6 年度決算認定

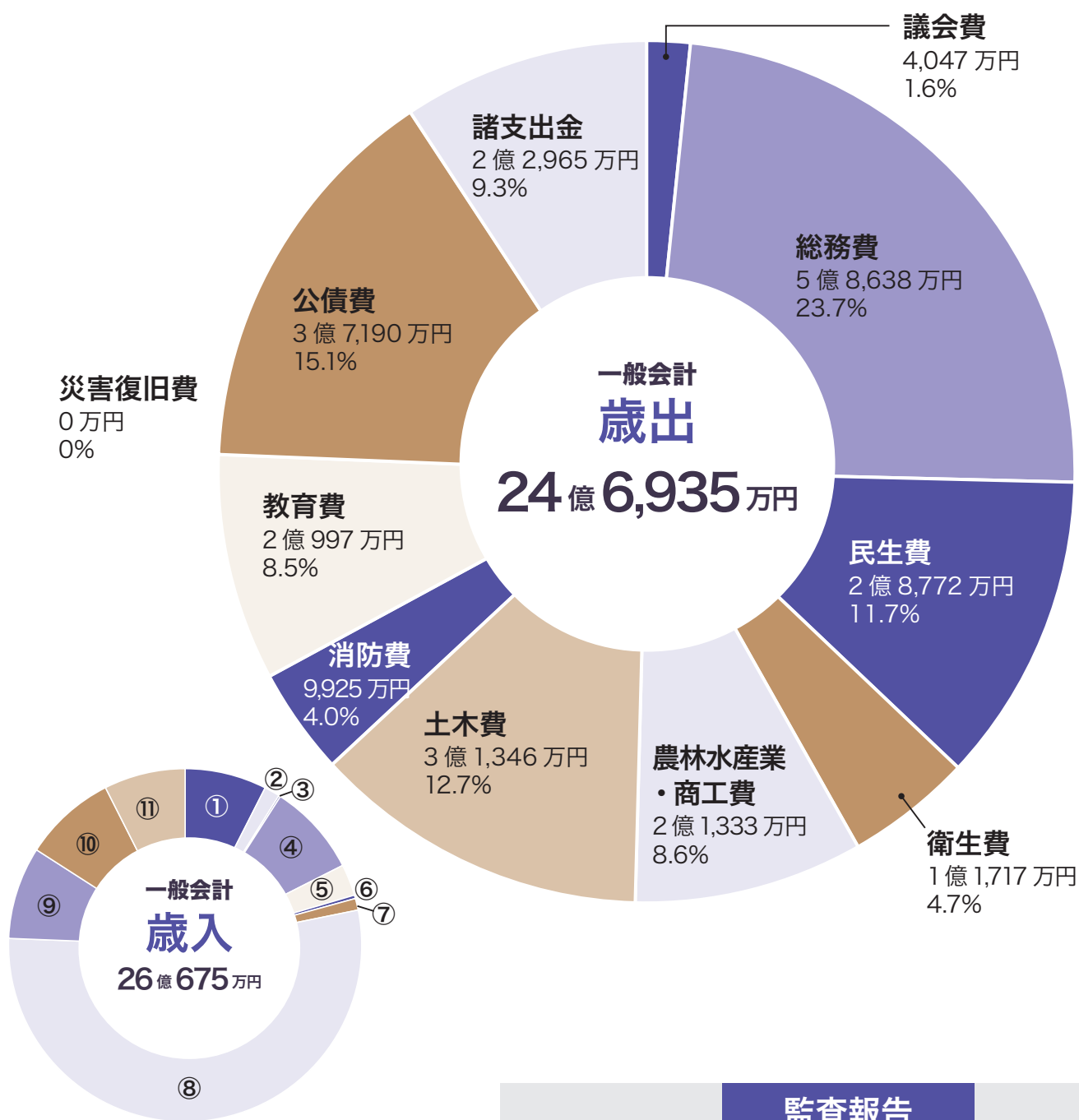
区分	令和 6 年度	令和 5 年度	増減率 (%)
議会費	4,047 万円	3,915 万円	3.4%
総務費	5 億 8,638 万円	9 億 5,789 万円	△ 38.8%
民生費	2 億 8,772 万円	2 億 6,402 万円	9.0%
衛生費	1 億 1,717 万円	1 億 4,814 万円	△ 20.9%
農林水産業・商工費	2 億 1,333 万円	1 億 7,585 万円	21%
土木費	3 億 1,346 万円	2 億 9,422 万円	6.5%
消防費	9,925 万円	1 億 3,472 万円	△ 26.3%
教育費	2 億 997 万円	1 億 8,570 万円	13.1%
災害復旧費	0	0	0.0%
公債費 (借金の支払い)	3 億 7,190 万円	3 億 6,167 万円	2.8%
諸支出金	2 億 2,965 万円	2 億 8,614 万円	△ 19.7%
合 計	24 億 6,935 万円	28 億 4,777 万円	△ 13.3%

## 令和 6 年度 特別会計決算 (単位：千円以下切捨て)

会 計 名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	2 億 5,465 万円	2 億 4,748 万円
国民健康保険診療所	1 億 1,200 万円	1 億 1,200 万円
介護保険	2 億 1,120 円	1 億 8,202 万円
介護サービス事業	79 万円	79 万円
後期高齢者医療	6,001 万円	6,001 万円
合 計	6 億 3,868 万円	6 億 233 万円

## 令和 6 年度 公営企業会計決算 (単位：千円以下切捨て)

会 計 名	総収益	総費用	経常損失	特別損失	当年度純利益
簡易水道事業	6,803 万円	6,854 万円	12 万円	38 万円	△ 50 万円
会 計 名	総収益	総費用	経常利益	特別損失	当年度純利益
浄化槽事業	1 億 1,113 万円	1 億 733 万円	511 万円	131 万円	379 万円



## 監査報告

実質公債費率は10.1%となっており、早期健全化基準の25%を大きく下回っている。で、健全な運営と認められる。ただし、この指標は低いほど健全であることが言えることから、今後においても財政状況に十分留意し健全化の維持に努めて行く必要がある。





おさだ かずお  
長田 和夫 議員

## 村長が考える「持続可能な村」とは

村長 誰もが幸せと豊かさを実感できる村

ています。使用していない二つの施設は、「廃止、取り壊し」（善之木）と「建て替え、長寿命化対策」（プール）となります。「地域住民や民間事業者との協働による利活用」は、再検討するよう村長より指示があり今後検討します。

（再質問あり）

◎ 村長が考える『持続可能な村づくり』の基本方針は

▲（村長） 選挙期間中から一貫して「対立より協調を」の理念のもと活動を行って参りました。村民が積極的に村政に参加し住民と一体となった行政を進め、将来にわたり誰もが幸せと豊かさを実感できる村にしたい

くことが、持続可能な村づくりの実現に向けた一歩であると考えています。

◎ 生活基盤の維持と地域活力の確保は

▲（村長） 今年度整備したコンビニエンスストアの運営・維持、また、今後移動販売を開始し買い物環境の更なる充実を図ると共に、新道坂トンネルの早期完成こそが最たる生活基盤の充実となり、地域人材の掘り起こし

や地域おこし協力隊の確保に努め、村の課題解決やコミュニティの活性化を図り年間を通じて村内でのイベントを開催し、交流人口の増加に努め、村内の賑わいを創出します。

◎ 産業振興や若者の定住・移住促進は

▲（村長） キャンプ場や民宿、貸別荘を積極的にPRし、国道沿いに桜やモミジを計画的に植樹し、広葉樹への転換を進め、四季折々の景観を形成し、通過されるだけでなく滞在できる観光を推進します。新道坂トンネルや国道413号道志バイパスを早期に完成させ交通インフラの充実を図ることが、最も有効な人口減少対策だと考えます。又受け入れ体制を整えるため、公営住宅の建設を計画的に

進め、並行してUターンする若者に対しての支援対策に取り組みます。

◎ 使用していない所有施設の数と管理状況について

▲（総務課長） 設置目的に沿って使用していない施設は屋内プールと善之木体育館の2施設となっています。「道志村公共施設長寿命化計画」により、個別の施設ごとに老朽化状況及び今後の維持管理・更新のコストを把握して施設ごとに対応し



善之木体育館



さとう ますみ 議員  
佐藤 真澄

## 地籍調査の進捗状況は

**産業振興課長** 未確定箇所が多くあり、それを解消するため多くの時間を要している

**Q 地籍調査の現状と進捗状況は。**

**A** (産業振興課長) 地籍調査において登記が完了となっているのは、長又と白井平の2地区です。

大室指地区につきましては、令和4年度から再調査を開始し、令和6年度末に調査完了しました。現在、その資料を県へ提出し確認して頂いています。県の認証がおりしだい法務局へ送付し、登記が完了となります。令和7年度は、笹久根地区の再調査に向けて、現在準備を進めています。

**Q 登記が未完了の地域について、今後の予定や見通しは。**

**A** (産業振興課長) 笹久根地区の登記完了後は、久保地区、野原地区、大渡地区、月夜野地区の順で再調査を実施する予定です。

す。椿地区から板橋地区の再調査については、計画的に再調査を進める予定です。

**Q 調査や登記の遅れの要因は、それに対する対策は。**

**A** (産業振興課長) 相続等の関係で境界の未確定箇所が多くあり、それを解消するために多くの時間を要している状況です。対策として、再調査を委託している山梨県公共嘱託登記土地家屋調査士協会と連携強化し、作業を進めている状況です。

**Q 道路脇、民家周辺の立ち木・危険木に対する行政対応は。**

**A** (産業振興課長) 村が管理する道路等の危険木につきましては、まず所有者の方へ伐採等の対策を促します。その上で、緊急性がある場合には、村で伐採・除去を行うこともあります。

**Q 所有者への支援制度(診断・伐採費用の補助)の有無**

**A** (産業振興課長) 現在、所有者の方への補助金等の支援制度はありませんが、近隣市町村等

の制度を確認した上で、検討します。

**Q 今後の安全対策や制度整備の予定は。**

**A** (産業振興課長) 所有者の方に伐採等についての協力を求めていると考えています。公共施設等については、必要に応じて、安全点検に努めていきます。制度整備については、必要の有無を検討します。(再質問あり)



村道わきの立木





さとう けんぞう  
佐藤 建蔵 議員

## 新道坂トンネル着工までのプロセスは

村長 令和10年度の工事着工に向け計画を進める

◎ 村長は選挙戦の遊説、チラシ等で、新道坂トンネル着工まで3年と言っていました。そのプロセスと議長在職時に期成同盟会の役員をしていたので、創設からの経緯と現状は。

▲ (村長) 公約に掲げたように災害に強い地域づくりを目指す上で、非常に重要な県の事業であります。着工までのプロセスは令和10年度の着工に向け、進めております。10月より現地調査にも着手すると聞いてますので、協力をしていきたいと思えます。

期成同盟会の設立趣旨は、避難路及び物資輸送路としての機能を有する防災トンネルとして整備することは、地域住民の安心安全な暮らしを構築する上で必要不可欠で、地域が一体とな

り、新道坂トンネルの早期完成に向け、協議を続けています。昨年11月には、事業化が決定し、本格的に事業が進んでいます。

◎ 村全体を公園化は。配布された道志未来計画2025に5分野の構想があげられています。『自然と清流を活かした特色ある観光の村へ』の一つに、『道志村全体を公園化する取り組みを進め、桜、紅葉、花などの計画的な植栽で、四季折々の景観を観光資源に活用します。』とあるが進め方は。

▲ (村長) 私の考える、道志村全体を公園化する取り組みは、森林環境譲与税や水源基金、植草基金等を活用し、荒廃した森林整備を進め、その上で桜、紅葉、芝桜、花などを計画的に植栽し、四季折々の景観からなる

観光資源を観光客等へ伝えることで、滞在型観光を推進していきます。

本村の年間の観光客は、昨年度100万人を超えておりますが、国道413号は、まだまだ富士五湖への観光ルートでの位置づけであると考えます。更なる観光客の増加、または滞在時間や滞在期間を増やす対策を講じていきたいと考えていま



花と田園風景

す。  
そのためには、行政だけではなく、村民の方はもちろん、各組織の皆様にも共感頂いた上で事業を計画し、実行していきたいと思えます。  
(再質問あり)





なか い よしあき  
仲井 義晶 議員

## 新たな公共交通対策は

村長 アンケート結果を踏まえ素案を作成

◎ 新期総合計画・総合戦略での公共交通対策は。

▲ (村長) 新規総合計画の策定

に関するアンケートの結果がまとまりましたので、それを踏まえ委員会において他の事業と共に素案を作成している状況になります。

◎ 交通手段について地理的、経済的な観点から「無償運行サービス」が適しているとの意見を聞くが、村長の考えは。

▲ (村長) 私が考える、適した公共交通のシステムは、



オンデマンドバス

誰でも利用できる財政負担が少なく持続可能なシステムであると考えます。

東西に長く、村民の生活範囲も都留市方面と富士吉田方面に分かれており、それに対応するため費用が増大する地理的要因を抱えています。

また、公共交通としては、地方交付税や補助金など国の財政処置が見込まれる範囲の中で、運転手の状況に左右されない責任ある事業者が運行し、受益者負担、公平性双方の観点から有償で行い、適正な報酬を運転手が受け取れることが、長く続けられる持続可能なシステムであると考えます。

◎ 就任あいさつの中に、豊かな村づくりを目指すために、「村民の声を聴くことが重要であり、その思いを真摯に受け止め、施策に反映させる」とあったがどのように反映させるのか。

▲ (村長) 私は形にこだわらず村民の皆様の意見をお聞きしたいと考えています。

子育て世代や任意団体の会議や集まりに私が直接出向いて意見をお聞きしていきたいと思えます。

垣根は一切設けず、様々な方々と会い、意見を頂戴しております。

議会議員は一番身近な村民の代表であります。ぜひ議員の皆様も様々な場面で村民の声を聞き取り、私に届けてください。

◎ 地域住民の声を聴く方法として、アンケート調査が一般的ですが、ワークショップや住民説明会、近年ではデジタルツールの活用(SNS)と言った方法があるが、どのような方法が可能か。

▲ (村長) 住民の意見を聞く方法としては、私が直接出向いて意見を聞くことを基本に考えていますが、どのような方法が可能かとの質問ですので、質問の内容容全ての方法が可能です。

(再質問あり)



やまぐち えいいち  
山口 栄一 議員

## 対話と協調の村の、 村民の意見集約 の方法は

村長 直接出向いて意見をお聞きしたい

いる状況ではあるので、経費の削減について協議し、経営の改善を求めています。  
村長からは、施設の抜本的な見直しも含めて検討するよう指示されています。（再質問あり）

◎ 就任挨拶の中で、県の事業ではありますが、新道坂トンネルは100億円を超える大きな事業で、道志村の未来を変えるものであります。村民一丸となつて着工に向けて努力しなくてはならないものであると認識しています。

また、他にも多くの施策があり、対話と協調の村づくりとありますが、村民の意見集約の方法は。

▲（村長） 村民からの意見は、形にこだわらず、直接出向いて意見をお聞きしたいと考えております。

村民の皆様から頂いた意見は、法令や財政状況、実現の可能性を含めて、関係する課や団体に共有し、検討した結果は、案件にもよりますが、出来る限

り対応状況を答えるように致します。

◎ 働き方改革に伴う村役場の現状と、今後の方針は

▲（総務課長） 業務の効率化については、各種証明書のコンビニ交付や役場窓口及びやまぐちセンターに自動発行機を設置、本年度より書かない窓口の導入を行い、お客様の負担を軽減し、窓口業務の職員の負担も軽減しています。

人材の確保については、近隣の学校を訪問して募集活動を実施しているほか、専門職については、インターシップの受け入れも実施しています。また、山梨県東部地区3市3村で、職員の共同採用を検討しているところであり、今後の人材の確保に努めています。

◎ 村民の憩いの場である、道志の湯ですが、昨年は3000万円の赤字になっている現状を鑑みると、コロナも沈静化した現状で、入浴客の減少は今後も同じと思われま

す。今後赤字がどこまで増えたら、どんな処置をとるのか。

▲（総務課長） 昨年度は補助金が3000万円となるなど、村財政を圧迫して



道志の湯



7/11  
8/28

## 広報常任委員会

7月11日、山梨県自治会館において「次回から必ず生かせる！ 議会だよ



7月11日広報研修会



8月28日講演の様子

り研修」と題し、議会広報アドバイザーの杉本誠一氏の講演があり表紙の作り方や撮影する際のポイントなどを講義して頂きました。

8月28日、東京都の渋谷公会堂において3名の講師による講演がありました。議会だよりのレイアウト方法などをフリーライターの丘村奈央子氏より講義があり、スマートフォンを活用し一人でもできる撮影技術の基本を映像ディレクターのオリカワシユウイチ氏、福岡県大刀洗町議会広報委員長の平山賢治氏による議会活性化と連動した広報誌づくりを講義頂き、大変有意義な講演であり、これからの議会だよりの制作に役立てていきたいと思います。

7/22

## 総務文教常任委員会活動報告

総務文教常任委員会では本年度の活動目標として、道志中学校で行われている3年生による15歳の提言より、ラップによる道志村の観光PR映像を

制作し、(議会だよりの67号掲載)道の駅どうしで7月から9月まで放映し、PR活動を行いました。

絵馬については、10月中の絵馬堂の完成に伴い、的様、雄滝・雌滝、道の駅どうしに順次設置予定です。

これからも継続して、15の提言や若者の提案の実現ができるよう、予算確保のため、議会提案により、9月定例会において、人と自然が輝く水源の郷づくり道志村応援寄附金条例の一部を改正し「若者が自由な発想で、夢がかなえられるよう、使用できる寄附金」を追加しました。



絵馬堂 (イメージ)



ライオンキング出演者

9月13日、第51回道志中学校若鮎祭文化の部、20日、道志小学校運動会に、総務文教常任委員会が出席しました。両校とも、少人数学校の利点を生かし全校生徒が一致団結し取り組む姿に本村の教育のあり方の良いところが出ていて大変うれしく思いました。

また、劇団道志中の全学年で行った、ライオンキング、今年のスローガンであるEmpower（エンパワー）のように、生徒が伸び伸び自己表現している姿に道志村の明るい未来に期待が持てました。



薪ボイラー

9/24

## 建設厚生 常任委員会

道志の湯の視察を行いました。議員全員と事務局、産業振興課課長、道志の湯従業員、支配人が参加。「薪ボイラー老朽化による対策」「健全経営化に向けた対策」について、情報交換を

行いました。

状況は深刻で、現状は、各機器の老朽化が進み、2号源泉の湧出量が低下したため稼働しているのは1号源泉のみ。薪ボイラーは5基のうち必要稼働は3基で1基は補助として稼働している、現状はこの4基の稼働で問題ない。食堂の営業時間の短縮等、様々な問題があり道志村と協議を進めているとの報告を受けました。

7/29  
・30

## 町村議会議長・議 会運営委員長行政 視察調査

富山県立山町に山梨県町村議会会長主催の行政視察に行ってきました。視察研修の目的は、議員がより良い議会活動を行うために必要な知識や事例を学び、自らの自治体に生かすことです。

立山町は、富山県中新川郡に属し、常願寺川によって形成された扇状地で立山連峰と接している日本でも有数の豪雪地帯で、特別豪雪地帯に指定されている、立山連峰の観光拠点でありま





研修会

す。立山町議会では、「議会改革・議会活性化」特別委員会が設置されており、議員のなり手不足、議員定数等全員で協議し定数改善を図っています。道志村議会においては、9月定例会において、議会改革特別委員会を設置し、議会改革に取り組む良い参考になりました。



東部・広域環境事務組合住民説明会資料より抜粋

## 富士東部広域環境事務組合 観光美化センター活動報告

### 目的

山梨県ゴミ処理広域計画における組合構成区域の廃棄物処理施設の老朽化に伴い、山梨県内3か所に集約し、郡内には4か所あった廃棄物処理施設を1か所にする方針が示され検討を重ねています。

今後のスケジュールとしては令和6年、基本設計から建設工事、新施設稼働は令和14年度の予定です。

## 山梨県後期高齢者医療広域 連合（お知らせ）

### 令和7年度後期高齢者医療保険料の算定誤りについて

令和6年度にシステムを改修した際、設定ミスにより、均等割りの軽減判定（7割・5割・2割軽減）の対象の一部に被保険者が漏れていたため、正常な判定ができず、保険料に誤りが生じました。対象者数は68名（17市町村）、更正額は増額31名（10、150円/年）、減額37名（△35、540円/年）、減額37名（△10、150円/年△35、540円/年）でした。道志村の対象者は0名。すでにシステムの設定ミスは修正しましたが、これを機に確認体制の強化を図り再発防止に努めるとしています。

万が一何らかの問題が生じた場合の問い合わせは、

山梨県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎055-1236-5761

## 6月定例会以降のおもな活動

6月26日	全員協議会
6月27日	第4回臨時議会
7月11日	町村議会広報研修 (甲府)
7月22日	建設厚生常任委員会 総務文教常任委員会
7月29日～ 30日	議長、議会運営委 員長行政視察
8月7日	リニア中央新幹線 期成同盟会(議長) 富士・東部広域環 境事務組合 第2回定例会
8月18日	山梨県高速道路整 備促進期成同盟会 (議長)
8月21日	総務文教常任委員会 全員協議会
8月28日	町村広報研修会 (東京)
9月2日	全員協議会
9月4日	横浜表敬訪問 (議長)
9月11日	広報常任委員会 議会運営委員会
9月13日	中学校若鮎祭
9月17日	第5回定例会 初日
9月20日	小学校運動会
9月24日	全員協議会 建設厚生常任委員会
9月25日	楽っとうし
9月26日	定例会最終日

A

Q

富士山噴火防災対策の取組みは  
平成24年「富士山火山防  
災対策協議会」が設立さ  
れ避難範囲を設定し、噴  
火災害における人的被害  
の軽減を図る。道志村地  
域防災計画において、防  
災・減災に関する事項を  
さだめている。

平成26年12月定例会

## その結果今は



富士山火山災害を含め、地域住民による積極的な防災対応は重要なことから、自主防災組織の果たす役割は大きくなっている。本村では現在、長又地区と野原地区で自主防災組織が発足しているが、今後も自主防災会の設立を支援していく。(長又自主防災会/平成25年4月、野原自主防災会/平成29年4月) また、地震の発生を想定して実施している防災訓練において、避難所の設置訓練や備蓄品の確認を行っているが、火山災害も想定した内容で行われている。

## 議会の考え

近年、富士山噴火への懸念が取り沙汰されているので、防災訓練、避難所の強化等備えを万全にしてもらいたい。





株式会社  
三和電機  
代表取締役  
出羽 幸男 さん  
でわ ゆきお

私が就職した頃は仕事のほとんどが紙によって動いていました。40代中頃からパソコンとかワープロが世の中に出始めて今は受発注・請求に至るまでデジタルの中で完結する時代になりました。

そうした環境下で当社はアナログの電源モジュールと小型変圧器を製造しています。市場は国内・海外半々といった割合です。団塊世代の私自身そもそもがアナログ人間で、昨年タイ向けの案件で成田税関の申請書類がクリアー出来ず、商工会の松野谷さんに助力していただきました。

今はカンボジアの工業団地向けの案件に取り組んでいます。製造業は労働集約的で道志の

地で事業を発展させるのはなかなか困難が伴うと思います。長田前村長がインフラの種をまいてくれました。議会と行政は力を結集して次のステップ、つまり村の発展の種をまいてください。



## 村民の声

目安箱 令和7年6月14日～9月26日まで 計3通

※内1通は議会で検討する内容ではありませんでしたので、掲載、コメントは致しません。

### 診療所での胃カメラ検査の再開を

現在、定期的に胃カメラ検査治療を行っていましたが、都留まで通院していましたが、最近では体力の衰えも看過できず、予約を取ったり車で出かけることが負担になってきています。

以前は、道志の診療所でも胃カメラが設置されており検査も行っていました。

返信

切なる希望者より担当課に検討を促します。

### 無償移動サービスを提供するNPO法人設立について

拝啓、村議会の皆様、日々のご尽力に心より感謝申し上げます。私は道志村の自然に魅了され、約5年前に移住した者です。自然豊かなこの村での生活には大変満足しておりますが、移動手段の制約が大きな課題と感じております。この課題は高齢者に限

返信

このことについて10月7日に協議会を開き投稿者よりNPO立ち上げについての説明、お話を伺いました。議会として前向きな検討をしていきます。

たが、現在、設置はあるものの医師不足で治療はできないとのこと。高齢者が増え、検査を望む住民の声も少なからず聞きます。わたしも、近い将来の返納も考えています。道志村で安心して治療が受けられるよう「胃カメラ検査の再開」をぜひともお願いいたします。



今年3月末の人事異動により道志駐在所に赴任しました。駐在所には妻と愛犬のミニチュアダックスフンドと一緒に住んでいます。本署等でパトカー勤務に就くことも多く、村内の各家庭への巡回が遅れています。できるだけ早くご挨拶に伺いたいと思っています。

地域住民の皆さまが安心して生活できるよう、地域の皆さま方一人ひとりに寄り添い、共にこの地域の安全・安心を守っていきたく考えています。パトロール中に見かけた際は、お気軽に声をかけていただけたら幸いです。

道志村の一員として、皆さまとの対話を大切にしながら、地域の安全・安心のために全力を尽くし、最も身近で頼れる存在でありたいと強く思っています。今後ともどうぞよろしく願います。

皆さまとの対話を大切に、  
地域の安全・安心のために全力を尽くします

駐在さん <sup>あかいけ ひでお</sup> 赤池 秀雄 さん

## 第2回 議会報告会のお知らせ



村民の多数の  
ご参加お待ちしております。

日時 11月19日(水)

19時開会

場所 やまゆりセンター

19:10 総務文教活動報告  
19:30 建設厚生活動報告  
19:50 50代までの提言と質問聴取  
20:10 全体よりの質問の聴取  
20:30 終了

## 12月 定例会

12月9日(火) 開会予定

広報常任委員会  
委員長 佐藤 真澄  
副委員長 半田 博敏  
委員 杉本 孝正  
委員 佐藤 広一

編 集 一 後 一 記

秋も日ごとに深まり、冬支度へと移りゆく季節となりました。議会活動を始めてから、早くも1年半が過ぎようとしています。「議会だより」も今回で第68号の発行となりました。

これまで定例会開催月の翌月に発行していましたが、編集期間の短さから、今号より開催月の【翌々月】に発行することといたしました。今後、皆さまにとって身近な議会だよりを目指して分かりやすくお伝えできよう努めていきます。

ぜひご一読いただき、議会だよりについてのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

(佐藤真澄)